

様式第2（第12条、第14条、第15条関係）

粉じん発生施設設置（使用・変更）届出書

年 月 日

東三河総局長
県民事務所長 殿
市 長

住 所
届出者 郵便番号
氏 名
(名称及び代表者氏名)

第7条第2項
県民の生活環境の保全等に関する条例 第8条第2項の規定により、粉じん発生施設
第9条第2項
について、次のとおり届け出ます。

| | | | |
|----------------------------|--------------------------|--------|-------|
| 工場又は事業場の名称 | | ※整理番号 | |
| 工場又は事業場の所在地 | | ※受理年月日 | 年 月 日 |
| 粉じん発生施設の種類 | | ※施設番号 | |
| 粉じん発生施設の構造並びに 使用及び管理の方法 | 別紙（1・2・3・4・5・6）の とおり。 | ※審査結果 | |
| | | ※備考 | |

- 備考 1 粉じん発生施設の種類の欄には、別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
2 連絡責任者の所属、氏名及び電話番号を記載した書類を添付すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。
4 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を別紙7により対照させること。
5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

粉じん発生施設（コークス炉）の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | |
|---|----------------------------------|-----------------|-------|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | |
| 名 称 及 び 型 式 | | | |
| 設 置 年 月 日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着 手 予 定 年 月 日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 使 用 開 始 予 定 年 月 日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 規 模 | 原料の処理能力 (t/日) | | |
| | 炉 室 数 | | |
| | 炭 化 時 間 (h) | | |
| 使 用 及 び 管 理 の 方 法 | 装 炭 作 業 | 粉じんの処理装置の種類及び型式 | |
| | | 集じん機効率 (%) | |
| | | 送風機の原動機出力 (kW) | |
| | 窯 出 し 作 業 | 粉じんの処理装置の種類及び型式 | |
| | | 集じん機効率 (%) | |
| | | 送風機の原動機出力 (kW) | |
| 消 火 作 業 | 粉 じ ん の 処 理 装 置 の 種 類 及 び 型 式 | | |
| 参 考 事 項 | | | |

- 備考
- 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
 - 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙2

粉じん発生施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|---------------------------|-------|--|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | | |
| 名称及び型式 | | | | |
| 設置年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 着手予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 使用開始予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 規模 | 面積 (m ²) | | | |
| | 堆積能力 (t) | | | |
| 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量 (t/年) | | | | |
| 使用及び管理の方法 | 堆積場がその中に設置されている建築物の概要 | | | |
| | 散水 | 装置の種類、型式及び基数 | | |
| | | 装置の能力 (m ³ /h) | | |
| | 散水の方法 | | | |
| | 防じんカバーの設置状況 | | | |
| | 薬液散布 | 薬液の種類及び名称 | | |
| | | 装置の種類、型式及び基数 | | |
| | | 装置の能力 (m ³ /h) | | |
| | 散布の方法 | | | |
| | 締固め | 装置の種類及び型式 | | |
| | | 方法 | | |
| | その他の方法 | | | |

- 備考
- 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 堆積場の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には、比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
 - 3 散水の方法、薬液散布の方法及び締固めの方法の欄には、実施の量（例えば、散水の場合は、水量 (L/t)、実施頻度等を記載すること。
 - 4 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 - 5 粉じん発生施設及び粉じんの飛散防止のための装置の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙3

粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------|-----|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | |
| 名称及び型式 | | | |
| 設置 | 年月日 | 年月日 | 年月日 |
| 着手予定 | 年月日 | 年月日 | 年月日 |
| 使用開始予定 | 年月日 | 年月日 | 年月日 |
| 規 模 | ベルト幅(cm)又はバケット内容積(m ³) | | |
| | 単基の長さ(m)×基数 | | |
| | ベルト又はバケット速度(m/分) | | |
| | 運搬能力(t/h) | | |
| 運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量(t/月) | | | |
| 使 用 及 び 管 理 の 方 法 | コンベアがその中に設置されている建築物の概要 | | |
| | 集 じん 機 | 集じん機の種類及び型式 | |
| | | 集じん機効率(%) | |
| | | 送風機の原動機出力(kW) | |
| | 散 水 | 装置の種類及び型式 | |
| | | 装置の能力(m ³ /h) | |
| | | 運搬量当たりの散水量(L/t) | |
| | 防じんカバーの設置状況 | | |
| | その他の方法 | | |

- 備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 4

粉じん発生施設（破碎機・粉碎機・摩砕機・研磨機・ふるい）
の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | |
|---------------------------|--|---------------------------|-------|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | |
| 名称及び型式 | | | |
| 設置年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着手予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 規模 | 原動機の定格出力 (kW) | | |
| | 処理能力 (t/h) | | |
| 処理対象物の種類及び通常の間月間処理量 (t/月) | | | |
| 使用 及び 管理 の 方法 | 破碎機、粉碎機、摩砕機、研磨機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要 | | |
| | 集じん機 | 集じん機の種類及び型式 | |
| | | 集じん機効率 (%) | |
| | | 送風機の原動機出力 (kW) | |
| | 散水 | 装置の種類及び型式 | |
| | | 装置の能力 (m ³ /h) | |
| | | 処理量当たり散水量 (L/t) | |
| | 防じんカバーの設置状況 | | |
| | その他の方法 | | |

- 備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙5

粉じん発生施設（打綿機・混打綿機・チップパー・碎木機）
の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | |
|-------------------------|---|-------|-------|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | |
| 名称及び型式 | | | |
| 設置年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着手予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 規模 | 原動機の定格出力（kW） | | |
| | 処理能力（kg/h） | | |
| 処理対象物の種類及び通常の月間処理量（t/月） | | | |
| 使用 及び 管理の 方法 | 打綿機、混打綿機、チップパー又は碎木機が その中に設置されている建築物の概要 | | |
| | 集じん機の種類及び型式 | | |
| | 集じん機効率（%） | | |
| | 送風機の原動機出力（kW） | | |
| | 防じんカバーの設置状況 | | |
| | その他の方法 | | |

- 備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の方法の欄には、集じん機等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙6

粉じん発生施設（吹付け塗装機）の構造並びに使用及び管理の方法

| | | | |
|---------------------------|--------------------------|---------------|-------|
| 工場又は事業場における施設番号 | | | |
| 名称及び型式 | | | |
| 設置年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着手予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 規模 | 吹付け能力（L/h） | | |
| 空気圧縮機の原動機の定格出力（kW） | | | |
| 処理対象物の種類及び通常の月間処理量（t/月） | | | |
| 使用 及び 管理 の 方法 | 吹付け塗装機がその中に設置されている建築物の概要 | | |
| | 集 じん 機 | 集じん機の種類及び型式 | |
| | | 集じん機効率（%） | |
| | | 送風機の原動機出力（kW） | |
| その他の方法 | | | |

- 備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の方法の欄には、集じん機等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 7

粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法の変更

| | |
|-----------------------|--|
| 変 更 前 | |
| 変 更 後 | |
| 変 更 の 理 由 | |

様式第6（第13条、第31条、第63条関係）

工場等の事業内容等

| | | | |
|-------------|--------------------------|-----------|---------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | | | |
| 工場又は事業場の所在地 | | | |
| 業種 | | | |
| 設置年月日 | | 年月日 | |
| 工場又は事業場の規模 | 常時使用する従業員数(人) | | 工場又は事業場の所在地の都市計画法の用途地域の区分 |
| | 敷地面積 (m ²) | | |
| | 建物延べ面積 (m ²) | | |
| 主要生産品 | 品目 | 1月当たりの生産量 | |
| | | | |
| 主要原材料 | 品目 | 用途 | 1月当たりの使用量 |
| | | | |
| 主要燃料 | 品目 | 用途 | 1月当たりの使用量 |
| | | | |

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。